



踊場連合だより No.101

発行日 平成30年2月22日

発行 踊場地区連合町内会 会長 菊池賢児 編集 広報委員会 委員長 渡邊こずえ 部数 5200部 印刷 モリカワ写植 TEL.864-6015

新年を迎えて

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、本年も健康で元氣にご活躍されますようお祈り申し上げます。

さて踊場地区連合町内会の平成30年の活動がいよいよ始まりました。

今年も地域の目標である「安心して暮らせるまち・

踊場」を目指し、皆様と協力しあい、楽しく明るいまちとなりますよう頑張つてまいります。

全員参加の「チーム踊場としてのご協力」をどうぞよろしく願いいたします。



(踊場地区連合町内会 会長 菊池 賢児)

～連合年末防犯パトロール～

毎年恒例の年末防犯パトロールは、12月21、22日(木・金)、夜7時～8時に各町内会から延べ60名の有志が集い、連合地域内を3つのコースに分けて実施しました。防犯パトロールを実施している町内会もありますが、防犯の呼びかけ、巡視は多いほどよいので、あえて連合でも行っています。

〔Aコース〕大丸→平和台→汲小→なか団地→戸高

〔Bコース〕東明会→踊場駅→踊場町内会→富士見丘ハイツ→戸中→くみさわハイツ→地区センター→プライマル

〔Cコース〕戸中→平台→警察公舎→明和会→東急→汲沢団地→新明会と

すべての自治会・町内会を巡回しました。



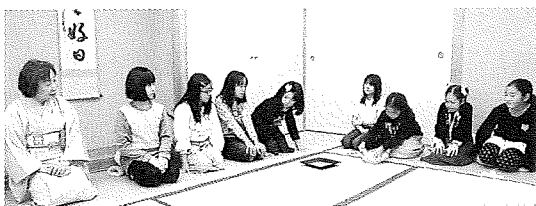
(踊場地区連合町内会 副会長 林 弘一)

第14回 踊場地区センターまつり

2月4日(日) 爽やかな青空のもと、地区センターまつりを実施いたしました。今回も地域の皆さまと共に大きな怪我、問題等なく終了できたことに感謝いたします。

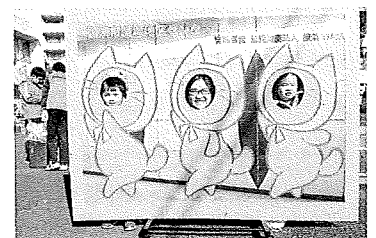


今年は『All For Smile ♪みんな笑顔でハイタッチ♪』というテーマを掲げ、1日中笑顔があふれるおまつりにしたいと願っていました。オープニングでは東汲沢小学校5年生によるソーラン節を道路を挟んだInfini(美容室)さんの駐車場をお借りし華々しく演舞していただきました。歩道を通る方々も足を止め、見学していただきました。その後、発表の場を体育室に移し、近隣の小学校・中学校・高校のステージ発表となりました。恒例になりつつある抽選会やガラポンも35の企業・店舗・団体・個人の皆様にご協いただき様々な賞品を用意することができました。ありがとうございました。



当日配布したパンフレットの枚数は1500枚、ボランティアが200人、ステージ発表の方々が約200人、今年も2000人近い来場となりました。

最後に前日の準備から最後の片付けまで地域の皆様にご協力いただきました。この場を借りて御礼申し上げます。来年も新しいことにチャレンジします！



(踊場地区センター 館長 長田 光玄)

秋季ソフトバレーボール大会

12月3日(日) 踊場地区センター体育室

スポーツ推進委員チームを含めて6チームと少し寂しい大会となってしまいました。試合は6チームによる総当りのリーグ戦で行いました。

家族で参加しているチームもあり、レベルに差はあっても一つのボールに声を掛け合いつなぐ姿を見ているとうらやましくも思いました。

ソフトバレーボールはボールが柔らかいので誰でもでき、男女混合の4人制なので気の合った仲間や町内会でぜひ春の大会に参加してみたいかでしょうか。



優勝 平台

準優勝 富士見ハンターズ

3位 ソフトバレー愛好会

(スポーツ推進委員 中田 康信)

TBSこども音楽コンクールの 地区大会で最優秀賞受賞!

東汲沢小学校特別合唱クラブは、毎年夏休みにコンクールに参加しています。今年度はTBSこども音楽コンクールの地区大会で最優秀賞をいただき、東日本優秀演奏会に神奈川県代表3校のうち1校として進むことができました。出場の知らせを聞いて、歓声を上げた子どもたち。これまで以上に前向きに練習に取り組み、ぐんぐん成長していく姿に驚くばかりでした。大きな舞台で歌えたことも、そこに向かって歌った日々も大切な宝物になりました。

活動をリードしている6年生の声を紹介します。

「夏休みも、朝や放課後も、冬休みも、たくさん練習しました。」「練習から全力で取り組みました。」

「広いホールで緊張したけれど、練習の成果を発揮し、いい演奏ができたので嬉しかったです。」「夏のコンクールからの成長を親や先生方に見せることができよかったです。」

4・5・6年生で協力し楽しく歌えたので、最高の演奏になったと思います。

(東汲沢小学校 教諭 谷 瞳)

今後の行事予定

- 春のえんそく 2018年3月11日
- 潮干狩り 2018年6月

編集後記

広報委員は、つぎのとおりです。

委員長・渡邊 こずえ、副委員長・浜野 俊一
 連合担当・齋藤 徳次、顧問・猪狩 秀雄、
 委員・新倉 卓、石田 久乃、中田 康信、
 牛頭 あゆみ、伊藤 市郎

「車に気を付けて!」

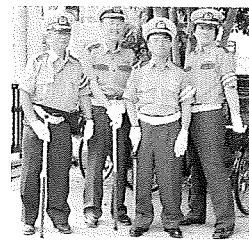
—戸塚交通安全協議会—

「車に気を付けて!」一日一回は家の中で聞かされる言葉である。大人も子供も、また自分自身でも気を付けたいと思う。

外出先の道路と言え狭く曲がり見通しも悪いため、危険はいつでもどの方向からでもやってくる。

交通事故は他人事では済まされない。自分は大丈夫と思っていなくても、交通ルールに従って通行していても、事故にあつて死傷する気の毒なケースは「歩行者事故の半数」「自転車事故の三分の一」を占めている。特に「自転車は乗ったら車の仲間に入る」と心して乗って欲しい。

交通安全日で交通整理に立っていると、スピードを出して走って来る車をよく見かける。カーナビの使用により抜け道として利用されているせいなのだろう。また、新しく冨塚のトンネルも開通し、今後の交通量はますます増加するのではと心配になる。



これからも交通安全広報・交通安全運動等を通して、支部12人全員で頑張りたい。

(交通安全協会 踊場支部長 笠 宏多)

—交通安全母の会—

突然ですが、「交通安全母の会」と聞いて、皆さんはどんな活動を思い浮かべますか?

この質問に、「わからないなあ」と思われる方がほとんどだと思いますので少し紹介します。

まず1つは、1日と15日の交通安全日の朝、子どもたちが登校する時間に横断歩道で旗持ちをしています。これが私たちの一番大切な役目です。

次に『おどりば文化まつり』等、地区の様々なイベントに参加し交通安全の呼びかけをしています。この他にも、季節ごとに駅前で行われる交通安全キャンペーンに参加し、道行く方々に交通安全にまつわるグッズやチラシを配布しながら呼び掛けを行ったり、各小学校で行われる交通安全教室のお手伝いをしています。

なかなか認知されない活動ではありますが、この活動は「命を守る活動」だと思っています。一人一人の心掛けで事故は減らすことができます。

事故から子どもたちを守るためにも、この活動を知って、多くの方にご協力をいただけたら幸いです。

(交通安全母の会 会長 白玉 麻理子)

訂正とお詫び

踊場連合だよりNo.100に誤りがありました。

『第42回おどりば文化まつり』とありますが『第41回』でした。訂正してお詫び申し上げます。